

## サイト紹介

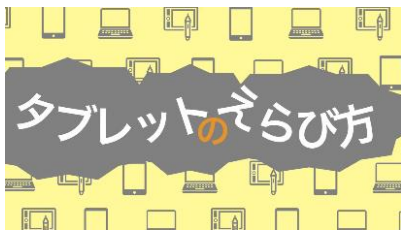
### 「平林ルミのテクノロジーノート ALT」



平林 ルミ（ひらばやし るみ）さんは金沢大学教育学部・教育学研究科を経て東京大学工学系研究科に進まれ、現在「学びプラネット合同会社・代表社員」、「東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター・教育学研究員」をされています。特別支援教育、特に学習に困難のある人へのテクノロジーを用いた学習補償・環境調整、読み書き評価の開発、読み書きの指導法に携わっておられます。



WEB サイトには様々なコンテンツがあります。初めてタブレットを選ぶときのアドバイス、読み書きを補うタブレットの活用法など、図やチャートで丁寧に分かりやすく説明されています。簡単に画面上の文字を読み上げたり、ひらがな50音のキーボードで文字を打ったりすることができることも紹介されています。また、オンラインでセミナーも開催されています。「まずはタブレットを手にとって、やってみよう！」そう思わせてくれる、元気が出る WEB サイトです。



ざわざわした教室が苦手・先生の話が聞き取りにくい。そんな「聞こえ」の困りごとに役立つテクノロジーについても紹介されています。



平林ルミのテクノロジーノートより画像引用

## 書評

### 「発達障害の子を育てる本 スマホ・タブレット活用編」

中邑 賢龍 近藤 武夫 監修 講談社

読み書きや計算、会話を苦手とする発達障害と呼ばれる子どもたちは、人一倍努力しているにもかかわらず、ほかの子どもたちと比べて学習速度が遅いため、徐々に自信を失っていき学校生活に適應できなくなる状況があります。そうなる前にその子に合った学び方を考えることの必要性があり、その学び方のヒントをこの本は教えてくれます。内容は実際の授業の具体的な場面での使い方はもちろんのこと、合理的配慮としてスマホやタブレットが認められているケースや、使用にあたっての疑問・不安にも答える形をとっています。例えば、「ゲームや動画ばかりに夢中になってしまうのではないか?」とか、「クラスの他の子どもたちに特別扱いされていると思われませんか?」など機器を使うのに躊躇してしまいがちなことにも明確に答えてくれます。また、機器を使ったことでの子どもたちの変化も綴られており、将来への展望がもてる内容になっています。タブレットの導入も始まっています。是非一度、手に取って読んでみてはいかがでしょうか。



## 編集後記



各校でGIGAスクール構想に伴うネット環境の整備や端末の整備が進んでいることと思います。令和3年3月に改訂された「広島市教育大綱」には「それぞれの教育段階において、ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する」とあります。一人一台端末で、何を目的に、どのような使い方をしていくかを大切に考えていきたいものです。今年度のサポート通信では、子どもたちの学びを支えるiPadの豆知識を御紹介していく予定です。

# サポート通信 VOL. 28



特別支援教育センター校からの情報発信ネットワーク

発行者 広島市立広島特別支援学校地域支援部 広島市南区出島4丁目1-1 TEL 代表 (082) 250-7101

## トータル・サティスファクションを一緒に目指しましょう

広島市立広島特別支援学校校長 合田 和広

サポート通信を御覧いただきありがとうございます。今年度より学校長に着任いたしました、合田和広（ごうだかずひろ）と申します。どうか今後ともよろしくお願いいたします。

平成19年4月学校教育法の一部を改正する法律が施行され、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすことが特別支援学校に位置付けられました。平成24年4月に分掌部としてセンター的機能を推進する「地域支援部」を立ち上げ、その後、広島市域の教育相談を行うサポートセンターが設立されました。現在は、4名のスタッフ（教育相談主任2名と相談員2名）を配置し、多くの子どもたちや保護者の皆様、教職員の皆様に御利用いただいております。令和2年度の来校相談件数は、延べ1041件でした。校種は小学校、中学校、高等学校で小・中学校が多数を占めており、そのうち8割が通常学級でした。支援内容は、実態把握や接し方・指導・支援方法に関するものが多数を占めています。支援形態としては、本人・保護者への支援として御来校いただく面談での対応が多数で、在籍校との連携も行っています。また、学校への支援として教育相談主任が学校に出向く巡回相談も行っています。今後も学校との連携を大切にしながら、サポートセンターの相談を進めて参りたいと思います。

本校では、今年度より取り組んでいく大きなテーマがあります。それは、「TS（トータル・サティスファクション）」です。これは、企業経営学から生まれた言葉ですが、その企業が活動することで、お客さまだけでなく、従業員や関連会社などその企業がかかわるすべての人々を幸せにすることを意味します。およそ事業というものは、その事業に関わるすべての人が幸せにならないと成り立たないものであり、一部の誰かを不幸にして自分が得をすることは幸せではないと、私は考えています。本サポートセンターを御利用いただく方とともに、私たち学校の教職員も、お互いが立場を超えて連携・協働し、中心にある子どもたちの豊かな人生を創出するために、努力を重ねてまいります。

「今、ここで、自分にできる」様々な教育活動を通して、本校に関わるすべての皆様に幸せにできる、「トータル・サティスファクション」社会のモデルとしての学校づくりを、教職員一同、全精力を傾けて行ってまいります。どうか今後とも本校の活動へ御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



# 教育相談

## サポートセンターについて

学校との連携を大切にした教育相談を目指します



サポートセンターでは、広島市立の幼稚園、小・中学校、高等学校に在籍している幼児児童生徒と保護者、教職員を対象に、来校相談、巡回相談などをさせていただきます。

### 保護者・本人への支援（保護者からのお申し込み）

保護者と本人がサポートセンターへ来校する相談です。子どもの特性や学び方の特徴を把握・整理したり、担任の先生方と連携を図って情報交換を行ったりします。それを踏まえ、保護者や本人とともに、具体的な支援や学習方法について一緒に考えていきます。



### 学校への支援（学校からのお申し込み）

特別な教育的ニーズのある子どもたちの特性の理解や支援の在り方等について情報提供をします。「巡回相談」と「来校相談」があり、「巡回相談」では、実際に授業場を参観し、子どもの特性に応じた対応や教材等を紹介しています。まずはお電話していただければと思います。



今年度サポートセンターで相談を担当するのは、北村、間賀田、永井、田淵の4名です。先生方との連携を大切にしながら相談を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

広島特別支援学校サポートセンター 直通Tel 256-2310 学校代表Tel 250-7101

# 研修案内

## 夏季 サポートセンター研修

※ 感染拡大状況により、変更する場合があります。

対象：広島市立小・中学校の特別支援学級担任、通級指導教室担当者、特別支援教育コーディネーター  
講師：教育相談主任・地域支援部  
会場：広島市立広島特別支援学校 サポートセンター  
講座名：子どもを理解し、支援につなげる WISCIVの活用について  
日程：令和3年8月3日(火) 14:00~16:30

先着16名までとさせていただきます。案内と申込書を各学校に送付してあります。詳細はそちらを御覧ください。

# 教育相談会

## 特別支援学級の先生を対象とした相談会

※ 感染拡大状況により、変更する場合があります。

夏季休業中に、本校教員が相談支援者となり、市内小学校、中学校の児童生徒の実態把握の方法やアセスメント、具体的な指導や支援などについて、相談を行います。今年度は、特別支援学級の先生にスポットを当てて相談支援を行います。詳細については、各校に別途案内を配付しておりますので、そちらを御覧ください。

御不明な点がございましたら、本校地域支援部（担当：中学部 菊一・山下 Tel250-7101）までお気軽にお問合せください。

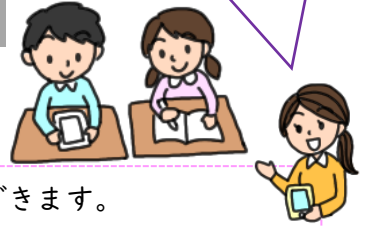
[教育相談期間] 前期：8月2日（月）～10日（火） 後期：8月18日（水）～20日（金）

# 紹介

## iPadを読み書きの道具にするための設定

自分に合った学び方を選ぶ教室に

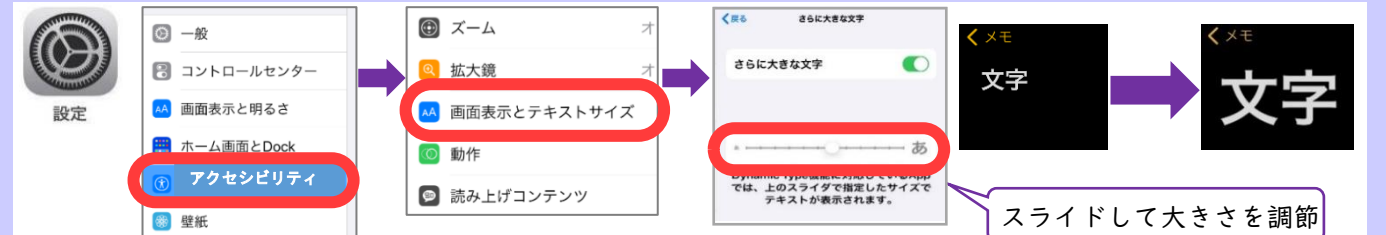
ノートでもiPadでも、自分に合った方法を選んで書いていいですよ！



「平林ルミのテクノロジーノート」から、読み書きが苦手な子どもがiPadを活用する上で役立つ機能を紹介します。「設定」から調整できます。

### ① 文字の大きさの設定

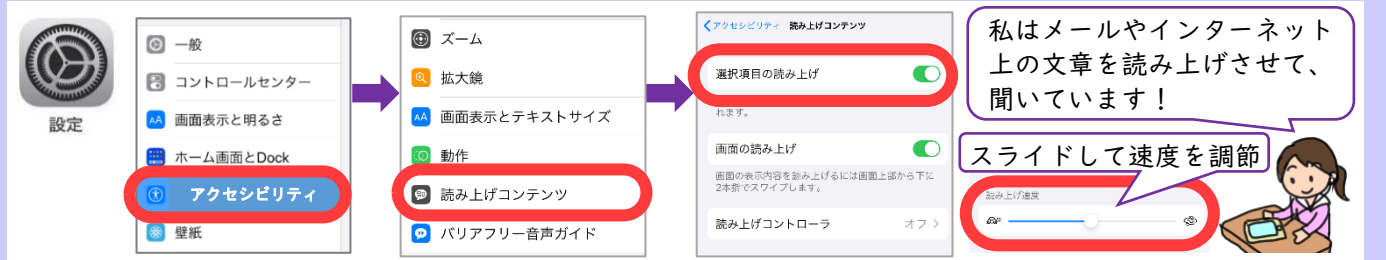
文字の大きさを調整して、見やすくできます。



スライドして大きさを調節

### ② 読み上げの機能の設定

文字情報を読み上げさせて内容理解につなげます。

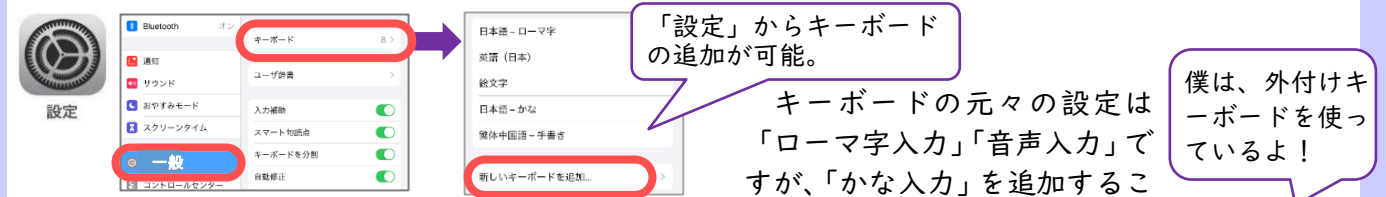


私はメールやインターネット上の文章を読み上げさせて、聞いています！

スライドして速度を調節

### ③ キーボードの設定

キーボードを追加して、スムーズな表現につなげます。



「設定」からキーボードの追加が可能。

キーボードの元々の設定は「ローマ字入力」「音声入力」ですが、「かな入力」を追加することができます。外付けのキーボードや入力を助けるキーボードアプリなどもあります。

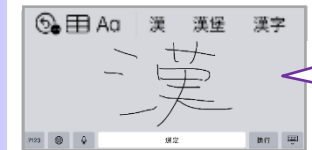
僕は、外付けキーボードを使っているよ！

#### 【日本語-かな】を追加



長押し→「フローティング」にするとフリック入力に。

#### 【簡体中国語-手書き】を追加



漢字を手書きすると予測された漢字が表示される。

キーボード画面の地球儀を長押しするとキーボードの切り替えが可能。

#### キーボードアプリを入れて使う



手書きの文字をテキスト形式に変換。漢字の予測変換もしてくれる。

特殊音節キーで入力できる。読み上げも可能。

イラスト付きの50音。文字を入力するとサウンドが鳴る。